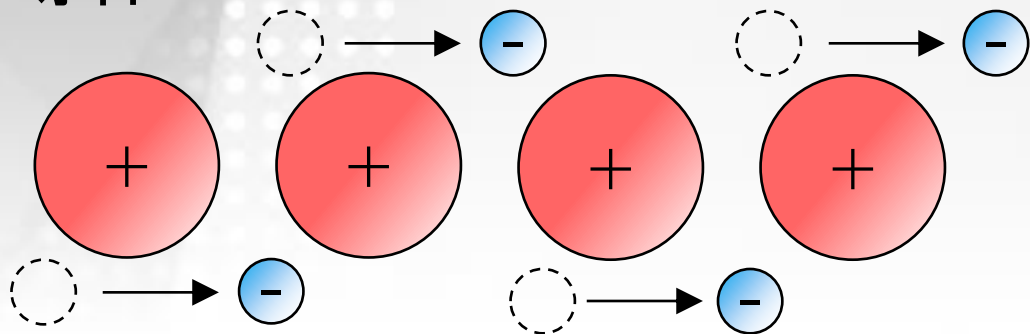


導電性基材両面導電性粘着テープ

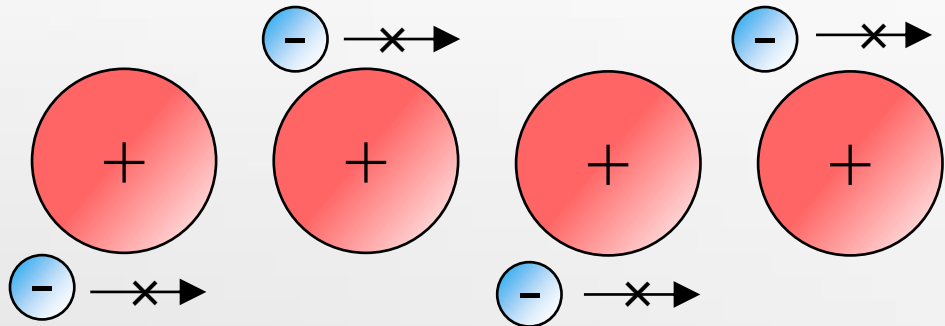
1. 導電とは

導体



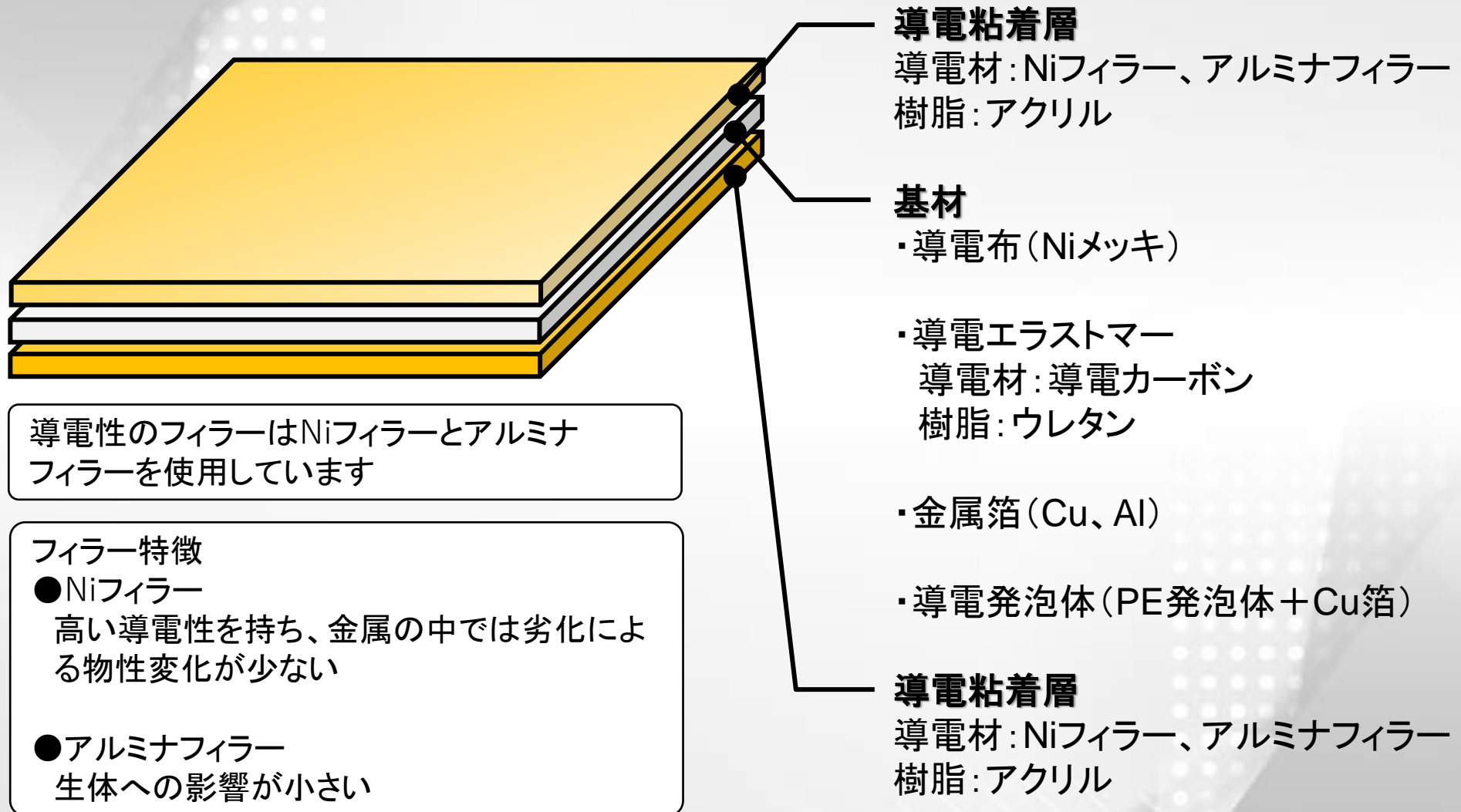
金属などの物質は+に帯電した陽イオンと-に帯電した陰イオンの結合が弱く電荷を印加すると電子が動く
→電気が流れる

絶縁体



金属と違い、絶縁体では+と-の結合が強く電荷を印加しても電子が動かない
→電気が流れない

2. 導電性両面テープの構成



2. 導電性両面テープの特徴・用途例

■ 特徴

導電性基材にアクリル系粘着剤を両面塗布した粘着テープです
特殊な導電粘着層を使用し、初期タックに優れ曲面への追従が可能です

導電性基材の種類により下記の特徴があります

- ・導電布基材
高い導電性と伸縮性を持ちます
導電布にはNiメッキタイプがあります

- ・導電エラストマー
導電性を確保しつつ、非常に高い伸縮性
を持ちます
導電エラストマーにはウレタン樹脂に導電
カーボンを添加したタイプがあります

- ・金属箔
非常に高い導電性を持ちます
金属箔は高い熱伝導性を持つ為、
放熱性に優れます
金属箔にはAlとCuがあります

- ・導電発泡体(PE発泡体+Cu箔)
発泡体のクッション性によりガスケット等
の追従性が必要な用途に使用できます
また、同時に表面層に導電性を持ちます
導電発泡体にはPE発泡体表面にCu箔を
貼り合わせたタイプがあります

■ 用途例

除電用途及びアース取り、電磁波バリアー、放熱用途、ガスケット用途

3. 基本物性

構成		伸び率 (%)	破断強度 (N/10mm)	粘着力 (N/25mm)		導電性※ (Ω)
基材	粘着層			SUS	ウレタン	
導電布 (Niメッキ)	Niフィラー + アクリル樹脂	20	—	11	2	1
導電エラストマー (導電カーボン+ウレタン樹脂)		60	8	6	1	3000
金属箔 (Al)		—	—	9	2	1

構成		常温		120°C×1h後		-40°C×1000h		85°C×85%RH×1000h	
基材	粘着層	粘着力 (N/25mm) SUS	導電性※ (Ω)	粘着力 (N/25mm) SUS	導電性※ (Ω)	粘着力 (N/25mm) SUS	導電性※ (Ω)	粘着力 (N/25mm) SUS	導電性※ (Ω)
導電布 (Niメッキ)	Niフィラー + アクリル樹脂	11	1	粘着力・導電性ともに常温と比較して大きな変化なし					
導電エラストマー (導電カーボン+ウレタン樹脂)		6	3000						
金属箔 (Al)		9	1						

※導電性は100mm×500mmサイズでの表面抵抗

4. KGK導電製品紹介

品番	厚み (mm)	基材	接着力 SUS (N/25mm)	特徴	注意事項
SWEC60C	0.06	Niフィラー+アクリル粘着層 アルミニウム基材 Niフィラー+アクリル粘着層	9.0	アルミ箔基材導電性両面粘着テープ	受注生産
SSEC60C	0.04	アルミニウム基材 Niフィラー+アクリル粘着層	8.0	アルミ箔基材導電性片面粘着テープ	受注生産
SWED98	0.098	Niフィラー+アクリル粘着層 銅箔基材 Niフィラー+アクリル粘着層	12.0	銅箔基材導電性両面粘着テープ	受注生産
150CU35	0.07	銅箔基材 Niフィラー+アクリル粘着層	10.6	銅箔基材導電性片面粘着テープ	受注生産
SWEE92	0.092	Niフィラー+アクリル粘着層 銅箔+発泡体基材 Niフィラー+アクリル粘着層	8.0	導電性ガスケットテープ	受注生産
101C	0.11	導電布基材 Niフィラー+アクリル粘着層	10.9	導電布基材粘着テープ	受注生産

最後に End of presentation

技術資料は全て共同技研化学(株)の研究室で行われたテストと実測値を基準に作成しております。但し、製品特性は環境や被着体によって大きく変わることがあります。

したがってこれらの特性データにつきまして参考値であり、保証値とはなりませんことご了承ください。

ご使用される前にこの製品が使用用途・環境に適しているか、お確かめの上ご使用頂けるようよろしくお願い致します。

User is responsible for determining whether the KGK product is fit for a particular purpose and suitable for user's method of application. Please remember that many factors can affect the use and performance of a KGK product in a particular application. The materials to be bonded with the product, the surface preparation of those materials, the product selected for use, the conditions in which the product is used, and the time and environmental conditions in which the product is expected to perform are among the many factors that can affect the use and performance of a KGK product. Given the variety of factors that can affect the use and performance of a KGK product, some of which are uniquely within the user's knowledge and control, it is essential that the user evaluate the KGK product to determine whether it is fit for a particular purpose and suitable for the user's method of application. KGK make no warranties on above data.

KGK Chemical Corporation.
940 Minaminagai Tokorozawa-City Saitama-Pref
359-0011 Japan
Tel : +81 4 2944 5151
Mail : info-k@kgk-tape.co.jp
URL : <https://www.kgk-tape.co.jp/>